

平成 28 年 2 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 28 年 2 月 18 日 (木) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分

2. 場 所 市立公民館・中央地区公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 谷口 馨 委員長職務代理者 野口 和江 委員 中野 俊勝
委員 川岸 靖代 教育長 樋口 利彦

4. 事務局出席者

・教育総務部長 西川 照彦 ・学校教育部長 須賀 俊介 ・生涯学習部長 松阪 正登
・総務課長 大西 謙次 ・学校管理課長 古谷 利雄 ・産業高校学務課長 山本 徹雄
・学校教育課長 松村 慎治 ・人権教育課長 阪本 美奈子 ・生涯学習課長 大和 昇
・理事兼スポーツ振興課長 直 清司 ・図書館長 玉井 良治
・総務課参事 高井 哲也

開会 午後 2 時 30 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に川岸委員を指名した。

傍聴人 0 名。

○谷口委員長

ただいまから、2 月定例教育委員会会議を開催します。

報告第 13 号 定時制聴講生（ワード基礎）募集について

○谷口委員長

報告第 13 号 定時制聴講生（ワード基礎）募集について、事務局から説明をお願いします。

○山本産業高校学務課長

報告第 13 号については、定時制聴講生（ワード基礎）募集についてです。

4 月 18 日（月）から平成 29 年 2 月までの午後 5 時 30 分から週 2 回、岸和田市立産業高等学校で行います。科目はワード基礎で、20 歳以上の府内在住または在勤者が対象になります。費用は年額 3,300 円で、定員は若干名としています。願書受付は、3 月 16 日（水）・17 日（木）の午後 5 時から午後 8 時までです。試験は、3 月 22 日（火）午後 6 時から産業高校で筆記試験（作文、国語常識）と面接を行い、4 月 4 日（月）午後 6 時 30 分から産業高校で合格発表を行います。周知につきましては、広報きしわだ 3 月号に掲載いたします。

○中野委員

対象者が 20 歳以上ということで、聴講生は生徒より年上になると思います。熱心な授業態度が、生徒に良い影響を与えてもらいたいと思います。昨年度の聴講生の人数や年齢層について教えてください。

○山本産業高校学務課長

平成 27 年度につきましては、66 歳男性が 1 人、65 歳と 54 歳の女性が 2 人の合計 3 人です。

報告第 14 号 「成人式」の結果について

○谷口委員長

報告第 14 号 「成人式」の結果について、事務局から説明をお願いします。

○大和生涯学習課長

報告第 14 号については、「成人式」の結果についてです。

1 月 11 日（月・祝）午前 11 時から 12 時 30 分に岸和田市総合体育館で行いました。新成人の該当者は 2,112 人（男 1,018 人、女 1,094 人）、当日の参加者数は 1,705 人で、参加率は 80.7% です。登壇者は 16 人（来賓 8 人、主催者 8 人）で、招待者は、市議会議員、連合町会長、青少年問題協議会委員、人権協議会委員、明るい選挙推進協議会委員の 37 人でした。当日、青少年指導員 283 人、市 P T A 15 人、市こ連 17 人、青年団 92 人、市職員 43 人、警察官 10 人、ガードマン 8 人、テレビ岸和田アナウンサー 1 人に協力いただきました。アトラクションは、幼児マーチングが山直南こども園 37 人、チアリーディングが箕面自由学園高校「GO L D E N B E A R S」79 人、お祝い演奏が短渕剛&B. B. B a n d 6 人に参加いただきました。新成人の誓いは、広報して 1 人の応募があり、新成人代表として新成人の誓いを述べていただきました。祝電が 3 通届いており、披露と会場内に貼り出しました。関係者 643 人の協力をいただきました。

○中野委員

最初に音響のトラブルがありましたが、皆さんに元気づけていただけたと思います。新成人の誓いで公募ということもあったと思いますが、成人への強い決意が現れていてとても立派でした。プログラムで産業高校のデザインシステム科 2 年生が制作して、各ページに花が描かれ花言葉も添えられていて、非常に良く出来ていたと思います。今年の夏の参議院選挙から選挙年齢が 18 歳に引き下げられます。そのことで成人式の意識が薄らがないと思いますが、来年もしっかりと盛り上げていただきたいと思います。

○大和生涯学習課長

今年、前にバンドを持ってきて、演台を前に持ってきた関係で市長挨拶の時にマイクが入りづらかったことがあります。来年は、最初に式典のセッティングをしたいと考えています。

○谷口委員長

全然聞く姿勢がなかったので、残念だと思いました。新成人の誓いの方は、非常に内容も良く、しっかりと話せていて、誓いとしてふさわしい方を選んでいただいたと感じました。参加

率の約 80%は、どの市町村でも同じような感じでしょうか。

○大和生涯学習課長

高い数字だと思っていますが、この数字は受付を通過した人数で、会場外にいる新成人もいましたので、実際はもう少し高いかと思います。

報告第 15 号 「いきいき市民のつどい」の結果について

○谷口委員長

報告第 15 号 「いきいき市民のつどい」の結果について、事務局から説明をお願いします。

○大和生涯学習課長

報告第 15 号については、「いきいき市民のつどい」の結果についてです。

1月 23 日（土）午後 1 時 30 分から 4 時まで、市立産業会館で行いました。内容は、推進本部委員全員と各団体の参加者及び一般参加者のおよそ 130 名の参加の中で、1 部、2 部とも 15 グループに分かれてワークショップ形式で行いました。最初、講演の後にワークショップに移る予定でしたが、講師の要望で最初からワークショップ形式でのスタートになりました。参加者約 130 名のうち 18 名が推進本部委員、保育者 2 名、スクリーンに講師の講演等を全て文字で流していただく文字通訳者 4 名の参加をしていただきました。今後、記録冊子を発行する予定です。

○川岸委員

参加された方がタイムラインやフェイスブックで、すごく良かったと宣伝されていました。特に“私たちはどんなまちをつくりたいか”が良かったとありました。

○中野委員

11 月にこの会議の説明をしていただいたときに、市内の多くの活動団体が高齢化して参加者が少なくなってきて、適切なテーマかと思っていました。何か手掛かりが得られれば良いと思いましたが、何か顕著なことがあれば教えてください。

○大和生涯学習課長

ワークショップのグループの中で話し合いをして、いろいろな意見を出してまとめた形になります。後継者不足はどの団体もあるという中で、どういう方向で後継者を見出していくのかということを皆さん真剣に議論していただいたので、参加された方はかなり有意義だったと伺いました。

報告第 16 号 岸和田城次期展示について

○谷口委員長

報告第 16 号 岸和田城次期展示について、事務局から説明をお願いします。

○松阪生涯学習部長

報告第 16 号については、岸和田城次期展示についてです。

名称は、「岸和田市指定有形文化財『落合文庫』展」—近世から近代への教育史をたどる—

です。会期は、3月16日（水）から5月15日（日）までで、この時期が一番お城周辺に多くの方がお越しになられる時期ですので、この時期を設定いたしました。岸和田城天守閣2階展示室が会場になります。主催は、岸和田市及び岸和田市教育委員会で、江戸時代の教育書や理化学書から、明治・大正期の教育書や理化学書を中心に約60冊を展示し、市民に「落合文庫」を紹介するとともに、岸和田の教育史をたどることで地域の歴史に興味・関心を持ってもらうことを目的としています。

「落合文庫」は、明治43年9月から昭和17年3月までの間、旧制大阪府第六尋常中学校（現大阪府立岸和田高等学校）に在籍し、大正10年4月から校長となった落合保氏の収集品を大半としていますが、その他、卒業生や地域の方々の寄贈書も含む内容となっています。全体でおおよそ1,600冊近くを数える龐大なコレクションとなっていて、なかでも理化学に関する書籍が279点と最も多く、これは、氏が理化学を専攻する教育者であったことを良く反映しています。

本市におきましては、平成19年に有形文化財に指定しています。展示内容は、解体新書、平天儀図解、学問のススメ、西洋事情等、60数点の展示を予定しています。広報につきましては、広報きしわだ3月号及び市ホームページに掲載する予定です。会期中の4月6日には、岸和田高校で桜まつりが開催されるということですので、生徒へのチラシ配布をし案内をしていきたいと考えています。

○中野委員

すごく立派なコレクションですので、展示していただき有り難いと思います。解体新書は初版本で、初版本は10数冊しかない貴重なものです。福沢諭吉の学問のススメや西洋事情もたぶん初版本だと思います。そういう貴重なものを展示してもらえるということです。平天儀図解は、貝塚市立善兵衛ランドの元になった方で、拝見できるのを大変楽しみにしております。

○野口委員長職務代理者

落合文庫は、普段は岸和田高校の中に収蔵されているのですか。

○松阪生涯学習部長

そうです。

○谷口委員長

教科書に出てくる本ばかりですので、非常に貴重な本が見られることを楽しみにしています。

○谷口委員長

何かご質問等ございませんか。

報告は以上ですので、次に議案の審議に移ります。

議案第6号 岸和田市教育委員会評価委員会委員の公募について

○谷口委員長

議案第6号 岸和田市教育委員会評価委員会委員の公募について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

議案第6号については、岸和田市教育委員会評価委員会委員の公募についてです。

岸和田市教育委員会が実施する事務の管理等の点検・評価について、指導・助言をいただく岸和田市教育委員会評価委員会委員の任期が、この3月末日をもって満了となりますので、平成28年度及び平成29年度に指導・助言をしていただく委員の選出が必要になります。岸和田市審議会等の委員の公募に関する条例に基づきまして、9名以下の審議会の場合、1名を特別な理由のない限り公募する必要がありますので、評価委員会委員は4名ですので、委員1名を広報きしわだ4月号に掲載し公募しようと考えています。応募は、応募用紙と800字程度のレポートを提出いただきます。

○谷口委員長

前回の応募者は何人でしたか。

○大西総務課長

3名でした。

○谷口委員長

優秀な方が応募してくれればと思います。

他にございませんか。他に意見がないようですので、原案どおり承認します。

議案第7号 振正予算について（事業費補正・繰越明許費）

○谷口委員長

議案第7号 振正予算（事業費補正・繰越明許費）について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

議案第7号につきましては、事業費補正及び繰越明許費についてです。

予算につきましては、3点事業費補正を行います。

まず1点目につきましては、平成28年1月8日に500,000円のご寄附をいただきましたので、教育基金に積み立てる事業費補正です。

2点目は、教育の振興に関する事業にいただきましたふるさと寄附金を、教育基金に積み立てる事業費補正です。

3点目は、国の幼児教育の振興ということで、幼稚園の保育料につきまして低所得者の方の負担軽減措置のための国の補正予算がされており、来年度、市もその制度を行っていきます。内容は、多子世帯の保護者の負担の軽減です。現在、第一子が全額、第二子が半額、第三子が無料の制度がありますが、第一子のカウントが小学3年生までで、小学4年生になるとカウントされません。例えば、小学4年生と幼稚園児がいる場合、幼稚園児が第一子となり全額負担となります。今回、年収360万円未満の世帯については、第一子をカウントする年齢枠を取り払って上から第一子、第二子とカウントして負担軽減を図ることになりました。ひとり親世帯についても保護者の負担軽減ということで、年収270万円未満のひとり親世帯で市民税非課税

世帯及び市民税所得割非課税世帯については保育料が無料となります。この世帯については、現行の取扱いと変わりありませんが、年収 270 万円から 360 万円までの市民税所得割課税世帯について、第一子を半額、第二子から無料となる保護者負担の軽減策を国が示しました。それに基づき、住基情報や税情報をシステムから利用しながら就園奨励事務を行っていますが、このシステム改修を行う必要があり、システム改修費として 1,642 千円を補正計上しました。この事業については、国から 2 分の 1 の補助金が出ます。

以上、この 3 点について、事業費補正をお願いすることと、3 点目については議会の議決をいただいても改修期間が 1 か月程しかなく、その期間で改修ができるかどうかもあり、来年度へ繰り越して予算執行できるように繰越明許費の設定も合わせて市議会で審議をいただく予定です。

○谷口委員長

何かご意見等ございませんか。特に意見がないようですので、原案どおり承認します。

議案第 8 号 振正予算について（債務負担行為補正）

○谷口委員長

議案第 8 号 振正予算（債務負担行為補正）について、事務局から説明をお願いします。

○古谷学校管理課長

議案第 8 号については、債務負担行為補正についてです。

情報社会教育の一環として、児童・生徒の情報技術教育のため、コンピューター教室にパソコンを設置しています。あわせて教育用サーバーを設置することで、教育用サーバーを中心としたネットワークを構築しており、それをリースしております。小学校につきましては、平成 28 年 8 月にリース期間満了を迎える中学校については昨年 8 月にリースが終了し、現在、再リース中で、これらの機器の入れ替えを考えております。平成 22 年度の振正予算を活用した中で、校務用パソコンを校務者に一人一台配置しております。それも校務用サーバーをリースすることで校務用ネットワークを構築しております。それらを入れ替え、特に校務用サーバーにつきましては、セキュリティの向上及び管理機能の強化を行い、データセンター化を図りたいと考えております。平成 28 年 8 月に整備を完了する必要がありますので、ネットワーク構築やデータ移行作業に取り掛かりたく、平成 27 年度から平成 33 年度までの期間で、小学校パソコン整備事業に 513,500 千円以内、中学校パソコン整備事業に 230,640 千円以内、合計 744,140 千円以内の債務負担行為補正として審議いただくものです。

○中野委員

2 点お伺いします。“サーバーを強固なデータセンターに設置”とありますが、個人情報については情報セキュリティが非常に大事な部分だと思います。サーバーはどこへ設置するのですか。

中学校のパソコンが、昨年 8 月で契約が切れて 1 年間再リースしたということは、1 年間古いパソコンを使用したことになり使用期間が通算 7 年となって、パソコンの状況から言います

と相当遅れてしまうことになると思います。1年でもそういうパソコンを使用したのはどうしてでしょうか。昨年の契約切れのときに更新できなかつたのでしょうか。

○古谷学校管理課長

まず1点目は、テレビ岸和田に設置しようと考えています。現在、市もセンターサーバーを置いています。

中学校のパソコンにつきましては、元々期間がずれていましたので、今回、時期を同じにしたい思いもあり再リースとしました。現状の機器につきましては、不備があれば修繕等で対応を考えていますが、今のところ問題はありません。

○中野委員

小学校と中学校を一体として安くなるのですか。

○古谷学校管理課長

特に校務用につきましては、データセンター化を図りたいと思っています。小学校と中学校の全てをネットワーク化したい思いと、資産の管理もしやすくなることも踏まえて、一時期に更新をしたいと考えています。

○谷口委員長

授業用のパソコンは最先端でなくても良いように思いますが、校務用のパソコンは最先端でセキュリティーもしっかりとしなければいけないと思います。授業用のパソコンの再リースを繰り返すのは、やめた方が良いのですか。

○古谷学校管理課長

ネットワークを構築している関係からホームエディションでは対応しきれない部分があり、プロフェッショナルのバージョンをエディションに入れています。一定の速度を得られ、画像等の処理のことを考えると、台数が多いので一定レベルの機器を入れないと授業に影響するであろうと考えます。

○谷口委員長

他にございませんか。他に意見がないようですので、原案のとおり承認します。

議案第9号 補正予算について（事業費補正・繰越明許費）

○谷口委員長

議案第9号 補正予算（事業費補正・繰越明許費）について、事務局から説明をお願いします。

○古谷学校管理課長

議案第9号については、事業費補正・繰越明許費についてです。

国の平成27年度補正予算（第1号）が平成28年1月16日に成立し、市町村の負担が軽減措置されることを受けて、大規模改造事業として小学校及び中学校の元々計画していました屋内運動場防災機能強化工事の前倒しを図りたいための補正予算になります。対象校は、太田小学校及び春木中学校の屋内運動場の改修工事です。

また、工事期間が取れないため、繰り越しをして平成 28 年度に予算執行したいと考えています。

○野口委員長職務代理者

防災機能強化とは、具体的にどういうことなのでしょうか。

○古谷学校管理課長

例えば、照明器具の落下防止や地震の際のガラス飛散防止、サッシのやり替え、外壁の剥離の補修等の非構造部材の耐震化になります。

○中野委員

工事費の半分が国庫補助になるのですか。

○古谷学校管理課長

3分の1になります。国庫補助を除く工事費に起債を充てることができますので、当該年度の一般財源の負担が軽減されます。

○谷口委員長

他にございませんか。他に意見がないようですので、原案どおり承認します。

議案第 10 号 議案第 3 号の廃止について

○谷口委員長

議案第 10 号 議案第 3 号の廃止について、事務局から説明をお願いします。

○松村学校教育課長

議案第 10 号については、議案第 3 号の廃止についてです。

平成 28 年 1 月の定例教育委員会会議の議案としまして、科学技術教育センター建設基金条例の廃止について審議及び承認され、所要の手続きを進めてきたところです。議案内容としましては、科学技術センターから新教育センターを建設するにあたり、当該基金を全額処分して建設費に充てるものでした。しかし、平成 28 年度の当初予算の要求と合わせて条例廃止の手続きをすることでしたが、平成 29 年 3 月末に基金を充てるため、平成 28 年度中は当該条例を残しておくことになり、平成 29 年 1 月の定例教育委員会会議において、改めて審議、承認していただきたく、議案第 3 号議案について廃案とするお願いをするものです。

○谷口委員長

少し早すぎたということですか。

○松村学校教育課長

そうです。

○谷口委員長

他にございませんか。他に意見がないようですので、原案どおり承認します。

議案第 11 号 補正予算について（債務負担行為補正）

○谷口委員長

議案第 11 号 補正予算（債務負担行為補正）について、事務局から説明をお願いします。

○松村学校教育課長

議案第 11 号については、債務負担行為補正についてです。

小・中学校の学校情報システムの更新にあたり、小・中学校の学校情報システムの機器管理、小・中学校における情報教育推進に向けた研究・研修を行う施設である科学技術教育センターの情報システムについても更新を行い、適切な管理、研究研修を行っていく必要があります。

また、平成 29 年 1 月より、科学技術教育センターが担ってきた研究・研修業務は教育センターが引き継ぐことになり、適切な管理、研究研修を行っていく必要があります。そこで、小・中学校の学校情報システムの更新の時期にあわせ十分な構築期間を設けられるよう、できるだけ早期に着手する必要があるため、平成 28 年第 1 回定例市議会に債務負担行為補正として審議いただくものです。

内容は、学校教育施設情報システム賃貸借で、平成 27 年度から 33 年度までの限度額 6,420 千円以内です。

○谷口委員長

何かご意見等ございませんか。特に意見がないようですので、原案のとおり承認します。

議案第 12 号 補正予算について（債務負担行為補正）

○谷口委員長

議案第 12 号 補正予算（債務負担行為補正）について、事務局から説明をお願いします。

○直スポーツ振興課長

議案第 12 号については、債務負担行為補正についてです。

岸和田市民道場心技館の平成 28 年度から 5 年間の指定管理者は、先の定例市議会において議決を得ました。平成 27 年度末をもって指定期間が満了になりますので、今年度中に相手方と協議・調整を進め、平成 28 年度以降の協定を締結する必要があるため、平成 28 年第 1 回定例市議会に債務負担行為補正をお願いするもので、限度額は 19,040 千円以内になります。

○谷口委員長

何かご意見等ございませんか。特に意見がないようですので、原案のとおり承認します。

議案第 13 号 平成 28 年度岸和田市教育重点施策（案）について

○谷口委員長

議案第 13 号 平成 28 年度岸和田市教育重点施策（案）について、事務局から説明をお願いします。

○松村学校教育課長

議案第 13 号については、平成 28 年度岸和田市教育重点施策（案）についてです。

教育基本法の趣旨に則りまして、平成28年度の教育重点施策を策定し、また地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い策定される教育大綱と併せて、平成28年度の教育の方針を示し、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るもので

今年度は、カラー刷り、教育大綱の8つの基本方針に沿った取組み内容や担当課を記載、所々にイラストを入れて親しみやすくし、昨年までとかなり変えております。

○谷口委員長

大幅に変わったところですので、まず全体の構成についてご意見を伺い、その後ページごとにご意見を伺っていきたいと思います。全体の構成について、ご意見をお願いします。

○中野委員

目次にページの記載がありますが、中のタイトルのページには記載がありません。

○松村学校教育課長

記載します。

○谷口委員長

教育大綱とのつながりが明確になり、担当課の記載をすることで非常に分かりやすくなりました。カラー刷りで、より見やすくなりました。

○川岸委員

見てみたくなるようになっていると思います。

○中野委員

教育委員会の施策が詳しく、分かりやすくなっているのが良いと思います。形としては、教育大綱を受けて、となっています。この教育大綱の大元は教育方針だと、総合教育会議でも述べました。子供にはアクティブラーニングということを説いていますが、その教育委員会が、指示待ちの形のようになっています。大元は教育方針なので、教育委員会が主体的にできたのに、という思いが強く残っています。

○野口委員長職務代理者

今まで教育方針として出していたのが、一時、“教育実施計画”という名称も出てきて、以前もらったものは“タイトル未定”で、今回は“教育重点施策”という名称が最終的な案で出ています。事務局で論議されたと思いますが、“岸和田市教育重点施策”になった過程を教えてください。

○松村学校教育課長

総合教育会議において策定しました教育大綱において、市としての大きな方針が示されています。その方針の方向性をもって具体的な施策をしていくのは、教育委員会事務局になります。お渡ししたものを教育方針としますと、両方に方針が示されることになってしまいます。そこで、これまでの教育方針としていた具体的中身については、教育の重点として取組むものということで、いろいろな意見も出ましたが最終的に“教育重点施策”になりました。

○樋口教育長

確かに“実施計画”などの名称が出てきましたが、教育委員会としての主体性ということで

“教育施策”が良いのか、また、パッと見て今年の施策が分かり、施策の担当課も記載をし、平成28年度の重点という言葉が適しているだろうということで、結果、“岸和田市教育重点施策”ということに至りました。

○中野委員

良く考えてもらったと思っています。“教育方針”ということになれば、教育大綱の方針と重なってくるので、それは避けた方が良いと思っています。

○谷口委員長

重点というのは、平成28年度の重点という見方をしているということです。

全体の構成については以上で、各ページを見ていきたいと思います。まずは、1ページ目にについて如何ですか。

○中野委員

事務局が気持ちを込めて作った文章ですが、教育委員会の名前で出る文章ですので気になる点を言わせていただきます。

1ページ『はじめに』の2行目、「今日の学校は、家庭や地域に至るまでの社会全体の大きな変化の影響を受け、抱える課題も複雑化・多様化しており、学校の教育力・組織力の向上とともに、地域との組織的・継続的な連携・協働体制の確立が求められます。」とありますが、いろいろ盛り込まれていて、力点がどこにあるのかが分かりにくい文章だと思います。その文章に“地域”という言葉が前や後ろにも出でています。また、“組織”の言葉も続いて出でます。一番、何に力点が置かれているのか分かりませんが、参考にする、しない、は事務局に任せますので、自分の解釈で意見を言います。

まず、“家庭や地域に至るまでの”が後ろの“社会全体”に掛っていて分かりにくいのではないかと思い、“家庭や地域に至るまでの社会全体の大きな変化の影響を受け”的文を“この社会全体の大きな変化の影響を受け”に置き換えます。

“学校の教育力・組織力の向上とともに”とある“組織力”は学校の教育力を高めるものではないかと思いますので、“学校の教育力の一層の向上のために”とする方が、力点が置けるのではないかと思います。

“地域との～”の前に“家庭”を入れて“家庭・地域との～”として、その後ろの“組織的・継続的な連携・協働体制”とありますが、“組織的・継続的な連携”により“協働体制”ができるのではないかと思いますので、“組織的・継続的な連携による協働体制”とします。

まとめますと「今日の学校は、この社会全体の大きな変化の影響を受け、抱える課題も複雑化・多様化しており、学校の教育力の一層の向上のために、家庭・地域との組織的・継続的な連携による協働体制の確立が求められます。」とする方がスッキリするのではないかでしょうか。

中段に「校長を中心に」とありますが、他のページに“学校園”という言葉が出てきて、本市の実情からいようと幼稚園3園に独立した園長がいますので、「校園長を中心に」とした方が実態に即しているのではないかと思います。

後段の生涯学習についての文章で、「市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を

送れるよう」とありますが、“市民一人ひとりが”が“自己の人格を磨き”とさらに後ろの“豊かな人生を送れるよう”にもつながって、個人主義的な感じが出てくるような気がします。そこで、“豊かな人生”の前に“共に協力して”を付けて、「市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、共に協力して豊かな人生を送れるよう」とすることで一体感が出るようになります。

○谷口委員長

確認ですが、中段の“岸和田市教育委員会としましては～”の4行下の“幼・小・中・高の校種間や地域との連携”のところですが、教育大綱では“保幼小の連携”や“小中の連携”で、高校に関しては“専門教育の充実”として、高校との連携については書かれていませんが、その後に“地域との連携”とあることから、“地域”的な大きな意味合いから高校も入れたということでおよろしいか。

○松村学校教育課長

はい。

○谷口委員長

出した意見を検討していただき、その方がより良い表現であれば、考慮いただければと思いますので、よろしくお願ひします。

次に2ページ、3ページについて如何ですか。

ないようですので、4ページ、5ページについて如何ですか。

特にないようですので、6ページ、7ページについて如何ですか。

○中野委員

6ページ（3）子育て支援の充実 ③幼稚園支援コーディネーターの配置

タイトルは“配置”となっていて、文章には“派遣”となっています。“配置”と“派遣”的どちらが正しいでしょうか。

○松村学校教育課長

“派遣”的の方が近いと思いますので、言葉を統一します。

○谷口委員長

言葉の統一をお願いします。

次に8ページ、9ページについて如何ですか。

○中野委員

9ページ（2）活用する力の育成 ⑥総合的な学習の時間の充実

文章が分かりにくいと思います。「各教科、道徳及び特別活動との役割分担を明らかにし」とありますが、学習指導要領で役割分担は、はっきりしていると思いますので、この表現は良くないと思います。「各教科、道徳及び特別活動との横断的・総合的な学習により」として、その後の文章「問題解決的な活動が発展的に繰り返されるような」を「問題解決的な活動を発展的に繰り返すような」としてはどうでしょうか。

○松村学校教育課長

ご指摘について検討させていただきます。

この文章の意図につきましては、道徳と特別活動を混同したような総合的な学習の時間が展開されることがあります、そうではなくきちんと、総合的な活動時間の主旨や道徳の目的など学習指導要領に記載されていることを明確に各学校でしてほしいという思いがありましたので、このように記載しました。ご指摘のとおり、これまでも横断的・総合的に取り組みなさいとあり、それも重要なキーワードだと思いますので考え方させていただきます。

○谷口委員長

読んでいて良く分かりませんでしたが、説明を聞いて良く分かりました。より思いが伝わる言葉に変更していただければと思います。

○樋口教育長

総合的な学習が誕生したときは比較的明確に取り組んでいましたが、長年経過すると総合的な学習とはいってどこの時間なのかという部分が現れてきていますので、今、説明にあったとおり、特化してねらいを確かにしの時間の大に充実してくださいという思いです。

○中野委員

ねらいどおりに展開してもらえば、素晴らしい時間になると思っています。

○谷口委員長

それでは、10ページ、11ページについて如何ですか。

○松村学校教育課長

11ページのタイトル「児童生徒」を「児童・生徒」に訂正します。

○中野委員

10ページ（5）専門教育の充実 ③姉妹校交流事業等の推進による国際性の涵養、及びコミュニケーション能力の育成

「韓国漢江メディア高校と協議します」とありますが、「韓国漢江メディア高校と特色ある交流授業に取り組みます」など、もっと具体的なことを入れた方が良いのではないかと思います。

最後の行に“コミュニケーション能力”とありますが、その前の②職業教育を生かしたキャリア教育の充実の文章にも“コミュニケーション能力”が出てきています。“コミュニケーション”的違いは、③は国際交流なので“外国語によるコミュニケーション”ではないかと思いますので、“外国語”を入れることで国際性が豊かになるのではないかと思います。

○野口委員長職務代理者

10ページ（4）小中の連携 ③小中のスムーズなバトンタッチ

「入学説明会や小中合同研修会、小中連絡会等の取組みを支援します」とありますが、“入学説明会”は“小中合同研修会”や“小中連絡会”とは質が違うと思います。また、“入学説明会の取組みを支援する”、というのは何を想像すれば良いのか分かりません。“入学説明会”を入れるのであれば、もう少し丁寧な記載がいると思います。小中合同研修会と小中連絡会は教師の研修会などで、“入学説明会”を並列に記載しているのはどういうことなのか考えても

分かりませんでした。

○松村学校教育課長

確かに対象が違います。中1ギャップを出来るだけなくして、中学校生活をスムーズに送れるための支援を考えていました。

○中野委員

小中連携した入学説明会という意味ですか。

○松村学校教育課長

連携といいますか、子供たちの円滑な移行のための支援です。子供たちの情報の共有や交流をしていかなければなりませんし、そういう場の設定や情報提供という支援もあります。

文章の言葉が少し足りなくて、読む人に分からぬ記載になっています。

○野口委員長職務代理人

入学説明会を重視するのであれば、もう少し丁寧な記載がいるだろうと思いました。

○中野委員

文章を読むと小、中単独の入学説明会という捉え方もできます。

○樋口教育長

授業見学やクラブ見学に生徒も参加、交流して上手くやっていくというようなことや、それぞれ担当者レベルで連絡会をして引き継ぎをきちんしたり、合同研修会で学力の話などいろんなことをしていますので、表現として“支援”が良いのか、“充実”が良いのか、その辺を言葉にして検討させていただきます。

○山本産業高校学務課長

先ほどの“外国語によるコミュニケーション能力”についてですが、外国語で出来れば一番良いのですが、外国語に特化せずにもっと広い意味での“コミュニケーション能力”ということで使っています。

○中野委員

それは少し弱いと思います。費用や時間をかけて国際交流の機会を活かして取り組むので、是非、力を入れてほしいと思います。

○谷口委員長

学校側からすると、ボディランゲージや文化を知ることで捉えているということです。また、委員からは“外国語”を付けてということです。韓国でも英語を使うことがあるかもしれません。

○中野委員

聞いたところでは英語もありますし、また、ハングルを卒業生から勉強していると聞いたりして、そういう努力もしていますから、はつきりしてもらう方が良いのではないかと思います。

○谷口委員長

“語学力を含む実践的なコミュニケーション能力”としてはどうでしょうか。

○中野委員

タイトルはこのままで良いと思いますが、具体的な内容を入れてもらう方がねらいははつきりすると思います。

○西川教育総務部長

表現については協議させていただきます。

○谷口委員長

表現について、協議お願いします。

次に 12 ページ、13 ページについて如何ですか。

○野口委員長職務代理者

12 ページ (2) 道徳教育の充実 ①道徳教育全体計画及び年間指導計画等の実質化

「指導計画を作成するために～道徳教育を充実させます」とありますが、指導計画は必ず作らなければならないので、“指導計画”が確実もしくは着実に展開されるように、ということになるのではないでしょうか。指導計画を作成するために充実させるのは違うと思います。

○松村学校教育課長

修正させてもらいます。

○谷口委員長

次に 14 ページ、15 ページについて如何ですか。

特にないようですので、16 ページ、17 ページについて如何ですか。

○野口委員長職務代理者

16 ページ (3) 体力の向上 ②体力向上支援委員会と連携した取組みの推進

「岸和田スキップロープ（なわとび）チャレンジを～取り組みます」とありますが、“を～取り組みます”ではなく“に～取り組みます”ではないでしょうか。

④水練学校・各種スポーツ大会の実施と支援

“岸和田市総合体育大会”とありますが、“岸和田市中学校総合体育大会”ではないでしょうか。正式名称はどうなっていますか。

○松村学校教育課長

確認して修正の必要があれば修正いたします。

○野口委員長職務代理者

16 ページ (2) 健康管理の充実 ①学校保健の充実

「学校医、学校歯科医、学校薬剤師等の地域の医療機関と連携しながら健康診断を実施し」とありますが、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等は地域の医療機関ではないので、「学校医、学校歯科医、学校薬剤師、地域の医療機関等と連携しながら健康診断を実施し」とするべきではないかと思います。

○谷口委員長

修正をお願いします。

次に 18 ページ、19 ページについて如何ですか。

○中野委員

18 ページ (2) 安心・安全で快適な学校園 ③トイレ等施設改修による環境改善

トイレ等施設改修による環境改善は、継続してするのではないですか。28 年度は小学校 2 校と中学校 1 校ですが、この文章では、单年度で終わるような捉え方もできるので、文章に“計画的に行い”などの言葉を入れてもらえば、続くというイメージになると思います。

○古谷学校管理課長

年次的にしていますが、明確な改善計画を立てているわけではありません。また、今の財政状況からすると、国の補助金が付く、付かないによっても事業実施に影響しますので、このような記載にしています。ただし、できるだけしていこうという風には思っています。

○谷口委員長

次に 20 ページ、21 ページについて如何ですか。

特にないようですので、22 ページ、23 ページについて如何ですか。

○野口委員長職務代理者

22 ページ (1) 家庭教育支援の充実 ②親学習リーダーの派遣及び活動支援

“親学習リーダーを派遣し”とありますが、どこに派遣するのでしょうか。

③キッズルームの開放及び子育てサークルの支援

“保育室を開放し”とありますが、どこなのでしょうか。入れる必要はないでしょうか。

○大和生涯学習課長

親学習という事業があり、そこに親学習リーダーを派遣し、親学習の活動を支援したい内容になります。保育室は、市立公民館に保育室という部屋がありますので、そこを開放して「キッズルーム」の取組みに利用していただく内容です。

○野口委員長職務代理者

“親学習事業にリーダーを派遣し”や“市立公民館の保育室を開放し”とした方が分かりやすいと思います。

○大和生涯学習課長

検討いたします。

○谷口委員長

次に 24 ページ、25 ページについて如何ですか。

特にないようですので、26 ページ、27 ページについて如何ですか。

○中野委員

26 ページ (2) 学習機会の拡充 ②公民館・青少年会館クラブの活動支援

1 行目と 3 行目に“ため”という言葉が出て、分かりにくく文章になっていると思いますので、1 行目の“ため”を取ってもらったらどうでしょうか。

③学び舎プログラムの実施

「推進を図るため」とありますが、「推進を図り」とする方が分かりやすいと思います。

○谷口委員長

再考をお願いします。

○中野委員

27 ページ (3) 読書に親しむ環境づくり ①市民との協働による子ども読書活動の推進
保護者の意見も聞くという意味からすると、“家庭”という言葉も入るのではないでしょ
うか。

○玉井図書館長

活動推進計画の中に“家庭”という表現があったかどうかも含めまして検討いたします。

○谷口委員長

検討いただいて、再考をお願いします。

次に 28 ページ、29 ページについて如何ですか。

特にないようですので、30 ページ、31 ページについて如何ですか。

このページも特にないようですので、32 ページ、33 ページについて如何ですか。

全ページが終わりましたが、全体を通して何かございますか。

委員から出ました意見について、再考、検討をお願いし承認します。

議案第 14 号 平成 28 年度教育費当初予算（案）について

○谷口委員長

議案第 14 号 平成 28 年度教育費当初予算（案）について、事務局から説明をお願いします。

○各担当課

平成 28 年度の教育費当初予算（案）について主なものを説明

○谷口委員長

説明が終わりました。ページごとにご意見等いただきたいと思います。

まず、1 ページ目（歳入）で何かございますか。

ないようですので、2 ページ目（歳入）で何かございますか。

○中野委員

学力向上支援事業費補助金の 330 千円は、理科実験補助員補助金という補助員の派遣費用で、
小学校、中学校の指定はしていないのですか。小学校、中学校ともに実験に応じて補助員を派
遣するということで、派遣の回数が増やせるということですか。

○松村学校教育課長

歳出予算 990 千円の 3 分の 1 補助で 330 千円になるということです。

○谷口委員長

3 ページ目（歳入）で何かございますか。

○谷口委員長

医療的ケアの必要な児童のための看護師配置の補助金がありますが、既に配置されているの
ですか。どこに配置されていますか。

○阪本人権教育課長

東光小学校のしいのみ学級に配置しています。

○谷口委員長

4ページ目（歳入）で何かございますか。

ないようですので、5ページ目（歳入）で何かございますか。

ないようですので、歳入は終わって、6ページ目（歳出）で何かございますか。

○中野委員

P C B 対策事業がありますが、泉州地域ではアスベスト被害がありますが、アスベスト調査は済んでいますか。

○古谷学校管理課長

アスベスト調査については、組織建てて市全体での調査は済んでいます。基本的には、封じ込め、除去による対応をしております。学校については天井裏部分は封じ込め、浄化槽の機械室に残っている部分については、毎年、空気中のアスベストの測定をしています。

○中野委員

P C B は対象がはっきりしていると思いますが、アスベストはどこに潜んでいるか分からず、気が抜けないと思いましたので聞かせてもらいました。

読書活動事業で、残念ながら中学校では週2日実施ができないと先ほど説明がありましたが、学力向上にもつながりますので、是非、実現を願いたいと思います。

○谷口委員長

7ページ目（歳出）で何かございますか。

○中野委員

小学校の外国語活動事業で外国語活動補助員は、28年度は2名となっていますが、ネイティブではないですか。

○松村学校教育課長

27年度の1名はネイティブです。28年度は2名のうち1名はネイティブとすることはできます。

○中野委員

早い段階で、ネイティブの綺麗な発音を聞けるのは大事なことだと思います。中学校の外国語教育事業にも関係がありますが、A L Tを中学校に配置し小学校に派遣するという良いアイデアでしたが、実現しないのは非常に残念です。国の方針としては、2020年東京オリンピック・パラリンピックをターゲットにグローバル化に対応した英語教育の改革というのを既に出しています。その中では、小学校もはっきりと英語教育と言っています。高学年では3コマ、うち1コマはモジュールメントというような、担任に加えて専科教員が担当するという具体的な内容が出てきて、しかも5・6年生の部分を3・4年生に前倒しして学級担任が担当していくということです。早い対応が必要だと思いますので、実現に向けて努力していただきたいと思います。

○谷口委員長

8ページ目（歳出）で何かございますか。

○谷口委員長

認定こども園施設型給付等事業で1号認定の増ということで費用が増加していますが、岸和田では1号認定しかなかったということですか。2号、3号はあまりないですか。

○大西総務課長

2号、3号の方が多いです。保育園が認定こども園になって、最初は幼稚園部分の1号は受入れない予定でしたが、受入れをしてきたところ2号の保育短時間の利用者が1号に変更してきたことから増加になりました。

○中野委員

中学校の外国語教育事業ですが、ALTの増員が通らなかったのは非常に残念です。今月上旬に文部科学省が平成27年度の高校3年生の英語力の“読む”、“聞く”、“話す”、“書く”的4技能の全国調査を行いました。特に中学3年生について言いますと、英検3級レベルを50%以上にするという狙いがありましたが、達成していないという状況です。このような状況ですので、ALTを増員してもらって、英語力を高めることが喫緊の課題だと思っています。28年度、増員が叶わないということですので、現有勢力で、例えば英語村、イングリッシュキャンプなどの具体的な取り組みをして成果を上げてもらって、予算を導いてもらいたい。特にそう思うのは、最近、外国からの観光客が増えています。また、本市は韓国に近いこともあり、そういう状況を考えると語学力、外国語によるコミュニケーションができるということが、絶対に必要だと思います。グローバル化の英語教育についての改革、取り組みについて文部科学省は、やがて中学校でも英語だけによる授業、と言っています。そのことからも英語力の充実については大切なことで、来年度はぜひ頑張って予算を獲得してもらいたいと思います。

○谷口委員長

9ページ目（歳出）で何かございますか。

○中野委員

スクールガードリーダーが1名増になっています。

○大和生涯学習課長

記載誤りです。スクールガードリーダー1名増の要求をしましたが、増にはなりませんでした。

○谷口委員長

10ページ目（歳出）で何かございますか。

○中野委員

公民館・青少年会館整備事業が、去年も“0”で今年も同じ状況です。先ほども説明がありましたが、別事業の修繕費での対応を考えているのですか。

○大和生涯学習課長

公民館・青少年会館整備事業で実施には4,000千円付きましたが、公民館・青少年会館管理

事業の方に組み替えていきます。

○野口委員長職務代理者

図書館費で、予算要求のときに障害者用トイレの設置をしたいと説明があったと思いますが、どうなりましたか。

○玉井図書館長

現在、1階に非常に使い勝手の悪い男女のトイレはありますが、非常に狭く、車いすでは入れない状況で、男女とも大きく改造する費用を昨年度も要求しましたが、2年続けて付きませんでした。来年度は、活用できる補助金がないか、男女同時の改造ではなく順番になどの方法を考えて進めていける状況にしたいと思います。

○谷口委員長

最後 11 ページ目（歳出）で何かございますか。

ないようですので、全体を通して何かございませんか。

○中野委員

一般予算の中の教育費の占める割合はどれくらいですか。

○大西総務課長

8.5%になります。

○谷口委員長

他にないようですので、原案のとおり承認します。

また、来年に向けて予算獲得できるよう頑張っていただきたいと思います。

本日の案件は以上です。これをもちまして、2月の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後4時30分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員